1 教育目標

(1) 本校の教育目標

教育基本法の精神に則り、心身を鍛え、知性を磨き、国家及び社会の有為な形成者として その発展に寄与するとともに、国際社会においても敬愛される人間を育成する。

- ○自己の進路を真剣に考え、すすんで学習する人間
- ○旺盛な気力と体力をもって、たくましく生きる力を培う人間
- ○礼節を重んじ、心豊かな生活を築いていく人間
- ○労力を惜しまず、郷土や地域、国家及び社会に積極的に貢献する人間 この目標達成のため、次の教育方針のもとに指導をすすめる。
 - ア 一人一人の個性と能力を十分に伸ばす。
 - イ 自律心、協力心を培い、将来社会人として、たくましく生きる力をつける。
 - ウ 気力及び体力の充実に努め、不屈の精神と忍耐力の養成を図る。
 - エ 郷土や自然に対する理解を深め、郷土愛、自然愛を養う。
 - オ 家庭や地域と緊密に連携して、きめ細かい指導の推進を図る。

校訓

「自啓自発」 自ら学び、自ら鍛え、すすんで自己を高めよう

(2) 本年度の課題、重点目標

- ア 3年間の教育活動によって、本校の校訓である「自啓自発」を体現できる生徒を育てる。 イ 学習指導方法の工夫改善に努め、生徒の学力の伸長を図る。
 - ・指導と評価の一体化を図る。
 - ・生徒の学力を把握し、適切な教育指導課程及び指導計画を立てる。
 - ・生徒を主体的に活動させたり、学習計画を考えさせることにより、効果的に学力の定着を図る。
- ウ 望ましい勤労観、職業観を育成し、生徒の可能性を引き出した進路目標を設定させ、その 実現に努める。
 - ・3年間を見通した進路計画を策定し、実行する。
 - ・入試情報の把握と生徒の学力分析を適切に行い、生徒の指導に反映させる。
 - ・進路学習会などを通して、生徒の学力伸長の支援を積極的に行う。
- エ 生徒に責任と義務を自覚させ、規範意識を高め、命と人権を重んじた生徒指導を行う。
 - ・端正な身だしなみで学校生活を送れるように全教職員で指導に当たる。
 - ・あいさつの励行、時間厳守、交通安全など、規律ある生活習慣を身につけさせる。
 - ・命と人権の大切さを伝えるとともに、社会における各人の役割の自覚を促す。
- オー様々な場面を通して生徒の状況を把握し、いじめ等の早期発見、撲滅に努める。
- カ 心身に問題を抱える生徒を的確に把握し、教育相談を適切に機能させ、個々の生徒に適応 した指導を図る。また、多様化する生徒の対応に向けて教職員の研修に努める。
- キ 協働の精神をもって職務に当たる。
 - ・分掌、学年を超えて、教職員全体が助け合える雰囲気をつくる。
 - ・チームワークをもって生徒指導に当たる。
 - ・教員間のコミュニケーションを密にし、生徒の情報の共有化を図る。
- ク 次のような取り組みを積極的に行い、教育活動を充実させるとともに、多忙化の解消に努 める。
 - ・会議の精選、時間短縮を図る。
 - ・行事を点検し、統合や廃止について検討する。
 - ・書類や職務等で簡素化できるものについては、改善を図る。
- ケ 庶務部との連携を密にし、予算の有効な執行と施設設備の充実、補修に当たる。